

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 博和会	代表者	宇宿 慶一	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は、ご利用者様が住み慣れた自宅または茂木地区で、その方らしい生活を送れるように柔軟なサービス提供に努めています。また、当事業所の職員がいち早く顔なじみの関係となり、家庭的な環境の下サービスを提供する事で、事業所を利用することが生活の一部や楽しみとなるように尽力しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サンブライト茂木	管理者	川本 貴之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	6人

項目	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<p>Q1 少なくとも常勤のスタッフ全員で事業所評価に取り組んでいることが確認できたか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p>	<p>➢利用者様の「〇〇をしたい」を実現するため、日々のコミュニケーションを大切にし、希望やニーズを聴き出す時間を作る。また、送迎時は家族と会話行い、企画運営に反映させる。</p> <p>➢事業所自己評価は、現在できている点をより伸ばせる努力を行いながら、できていない点の改善に努める。</p> <p>➢情報伝達の工夫を継続する。ケアパレットを活用し、改善点について職員全員で適宜見直しを行う。また朝礼、終礼、全体会議にて見直しを行う時間を確保する。</p> <p>➢類似した事故、ヒヤリハットが繰り返し起こらないように「改善」「取り組み」「結果」に関連性を持たせ、全職員が事故のない支援を目指す。</p> <p>➢事故防止委員会は職員にヒヤリハット報告書の充実と介護事故を減らす注意喚起を適宜行う。</p> <p>➢プライバシー保護について、申し送りや報連相の場面では話してよい場面か確認して行うように徹底する。</p>
	<p>Q2 事業所評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できたか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p>	
	<p>Q3 前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組が行われていたか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p>	
	<p>Q4 今回の改善の必要な点が明らかにあり、その改善計画が具体的にたてられているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p>	
	<p>Q5 事業所自己評価に取り組んだ経過(姿勢)に対する意見 → ・自己評価をすることによって、利用者への対応など改善点がわかり、少しでも支援向上を目指し努力していこうという姿勢が見られます。 ・昨年度の事業所自己評価にありました改善計画に沿って、できる限りの支援が成されていることがわかりました。 ・類似した内容のヒヤリハットが繰り返し起こっている点、プライバシー保護について徹底不足であった点が、昨年度同様できていない点として挙げられていました。その2点について、特に重点をおいて取り組んでいたただければと思います。 ・スタッフ全員が自己評価に参加している点が素晴らしいです。 ・日々の忙しさの中で振り返りを行うことは大変ですが続けていただきたいです。</p>	

- ・評価に真剣に取り組んだ姿勢が伺えます。所々、改善計画の「改善」「取り組み」「結果」に関連性がない記載になっていました。

#### Q6

今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- 
- ・スタッフ間の連携は取れている様子なので達成は可能と思います。
  - ・年の途中で困難と思われることはやり方を考え直すことでできるのではと思っています。
  - ・具体的な内容で改善計画を立てていたと思います。上記にも記載した通りヒヤリハットに関する点とプライバシー保護に関する点について今後の改善計画の中でも、特に重点をおいて取り組んでいただければと思います。
  - ・すべて達成することは難しいとは思いますが、可能に向けて欲しいと思います。
  - ・事業所評価「4.地域での暮らしの支援」「6.連携・協働」の自己評価は「できていない」が過半数を超えています。改善計画や取り組みが達成可能なものであるのか検討をお願いします。

#### Q7

自己評価をテーマとした自由意見

- 
- ・改善計画に対する取り組みではほとんどが「なんとかできている」の評価です。自信をもって「よくできている」になれない原因は何なのか。そこが改善点になるのではと考えます。
  - ・目標となるテーマを具体的に細分化した方が良いのではないか？
  - ・多忙な業務の中、様々な研修や資格取得も含め、自己評価への取り組みが元になっていると思います。多忙を言い訳にしない姿勢が素晴らしいと感じます。

➤記録物や掲示物の管理においてはプライバシーに配慮する。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>Q1 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされているか？ →はい4 いいえ わからない1 無記入1</p> <p>Q2 事業所は居心地がいい空間になっているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q3 事業所内・外に、不快な音や臭い等はないか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q4 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q5 上記(Q1～Q4)に関する意見 →  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新型コロナ感染の制限は緩和されたものの、高齢者の感染リスク軽減のため尽力されているため、事業所への立ち入りは消極的にならざるを得ない部分があったと思います。そのような中でコロナの状況を鑑み、職員が積極的に地域参加されたりと利用者様と一緒に地域の行事に参加したりできる範囲の活動を行っていると思います。</li> <li>• いつ伺ってもきれいな玄関と会議室です。</li> <li>• フロアから利用者様の居室が見渡せて安心できる空間となっています。</li> <li>• 駐車場も広くて止めやすいです。</li> <li>• 作品や季節の飾りつけがあり、明るい印象を受けます。</li> </ul> </p> <p>Q6 事業所のしつらえ、環境をテーマにした自由意見 →  <ul style="list-style-type: none"> <li>• もう少しコロナやインフルが落ち着いたら事業所内の飾りつけや利用者様の創作物をゆっくりに拝見させていただきたいです。</li> <li>• 事業所に入りやすい工夫は、具体的にどう展開していくのが良いのか？なじみの場所ではないのでボランティアの受け入れや保育園、小学校との交流を必要に応じて図ることで地域とのつながりを長期に行っていくのはいかがでしょうか。</li> <li>• 不快なおいはなく、配慮がなされています。床にゴミは落ちていないが、水回りは特に床の目に入り込んだ汚れがあります。</li> </ul> </p>	<p>➢新型コロナウイルスの状況を鑑みながら家族や地域の方々が来所できる機会を検討し、実現できるように努める。</p> <p>➢運営推進会議後、利用者様の生活空間を案内する時間を設ける。</p> <p>➢臭いも含めた清掃を行い、居心地の良い空間・環境づくりを継続する。</p> <p>➢感染予防は継続し、時間ごとに換気と手に触れる設備の消毒を行う。</p> <p>➢事業所内は季節を感じられるような装飾を行い、明るい空間作りに努める。</p> <p>➢介護保険の制度上、身体拘束の観点から玄関を施錠することができないため、見守りにて利用者様の行動に注意を払う。</p>
----------------------------	---	--

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>Q1 職員の挨拶はできているか？ →はい4 いいえ わからない1 無記入1</p> <p>Q2 事業所は、地域の方に知られているか？ →はい2 いいえ1 わからない2 無記入1</p> <p>Q3 何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっているか？ →はい3 いいえ わからない2 無記入1</p> <p>Q4 事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加しているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q5 上記(Q1～Q4)に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性もあり、上記の項目で達成が難しい所もあると感じますが、開所以来様々な工夫と努力をしていると思います。</li> <li>・茂木花火大会や地域ふれあい祭りなどのイベント参加の写真を拝見し、積極的に地域行事の参加ができていると思います。</li> <li>・事業所内外で職員の方にお会いすることがありますが、丁寧に御挨拶いただけてます。</li> <li>・地域の集いへの参加や、地域行事の参加等されており、住民にも相談窓口として浸透され始めていると思います。</li> <li>・開所してから2年を経過しますが、まだまだ事業所の認知度は低いと思います。</li> <li>・感染予防に配慮しつつ、スタッフが地域行事やイベントに参加していることが分かります。茂木若人の会への加入、茂木地区イベント（ふれあい祭り会場設営、リヤカー市）など積極的に参加していると感じます。</li> </ul> <p>Q6 事業所と地域のかかわりをテーマにした自由意見</p> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が地域へのかかわりと同時に、地域が施設とのかかわりを活性化することも大切になってくると思います。</li> <li>・一般見学会、または事業所の説明会などを行うのも手かと思えます。</li> <li>・職員が地域交流はなかなか難しいとは思いますが、今後も地域イベントには利用者さんと共に積極的な参加ができたらと思います。</li> <li>・私ももう少し茂木を知りたいです。イベントへの参加を聞いた時は嬉しかったです。</li> </ul>	<p>➤毎週水曜日 13:30、移動スーパー（とくし丸）様に来所いただき地域の方と利用者様が触れ合う機会をつくる。</p> <p>➤茂木若人の会に引継ぎ加入し、イベントの会場設営のお手伝い、清掃活動を中心にできることがあれば可能な限り参加させていただきます。</p> <p>➤コロナの状況を見ながら事業所での行事を地域の方々にも来ていただけるような企画を検討し、事業所の存在を知ってもらおう。</p> <p>➤管理者以外の職員も地域の方と触れ合う機会には積極的に出向き、地域との関わりを深める。</p> <p>➤引き続き、運営推進会議において、地域交流の活動が具体的にわかるように、報告や議事録の作成を行う。</p>
-----------------------	--	--

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>Q1 利用者を事業所の中だけに閉じ込めていないか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q2 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われているか？ →はい2 いいえ1 わからない2 無記入1</p> <p>Q3 事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか？ →はい3 いいえ1 わからない1 無記入1</p> <p>Q4 利用者以外のご近所に心配な方に、事業所は関わっているか？ →はい2 いいえ わからない3 無記入1</p> <p>Q5 上記(Q1～Q4)に関する意見 →・まだまだ時期的に外出の機会は難しいと考えています。 ・小島茂木地域包括支援センターを通じてニーズ把握ができています。 ・<b>新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、今年度は利用者様と地域行事への参加を行うなど利用者様がサービス利用中に外出する機会が確保できるようにしていただいていると思います。</b> ・外出行事（花見やドライブ等）、イベント参加によく出向いていると思います。 ・茂木ふれあい祭りに参加して利用者さんとカ土との握手会に参加し、色紙にサインをもらってきたと報告がありました。利用者様は喜んだと思います。色紙は事業所出入口に飾っており、皆が見ることができて良いと思いました。</p> <p>Q6 地域に出向いて本人の暮らしを支えているをテーマにした自由意見 →・職員の人員配置もあり、できることは実践していると思います。 ・日常の中でご利用様が施設内だけで過ごすのではなく、活動、外出できる機会が日常になればいいと考えます。 ・<b>訪問や送迎など、利用者様の近所の中など知る機会は多いと思います。有効活用してください。</b></p>	<p>➤引き続き、コロナウイルス感染予防対策を継続しつつ、外出行事を積極的に企画運営する。また、地域のイベントにも参加する。</p> <p>➤利用者様に係るインフォーマルな資源の方々と普段から連絡を取り合える体制作りに努める。</p> <p>➤利用者様の生活を支えることができるようこれまで以上に地域包括支援センターと連携を図る。</p>
--------------------------------	--	---

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>Q1 運営推進会議では、事業所の取り組みが解りやすく説明されているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q2 運営推進会議では、地域の心配の方などの事例検討が行われているか？ →はい4 いいえ1 わからない 無記入1</p> <p>Q3 運営推進会議では、地域の取り組みを一緒に取り組もうしているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q4 運営推進会議で出た意見を改善に繋げているか？ →はい5 いいえ わからない 無記入1</p> <p>Q5 上記(Q1～Q4)に関する意見 →  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 運営推進会議においては、状況報告、事業所内部見学、構造上の安全確保等、避難時の体制整備等具体的紹介いただき、非常にわかりやすく説明いただいています。運営推進会議の場で事例検討や心配事の聞き取り等には至っておらず、2 については「いいえ」と回答させていただきます。</li> <li>• 運営推進会議に出席できないことも多いですが、実は楽しみでもあります。茂木にある施設というより、茂木の寄り合いどころのように感じることもあります。良い会議と思います。</li> <li>• 運営推進会議資料において活動内容の写真挿入があり、取り組み内容が分かりやすいです。</li> <li>• 介護事故の報告では、文章のみで分かりづらいことがあるため、必要に応じて図解説明があっても良いと思います。</li> <li>• 報告書を参照し、検討や改善に取り組んでいると感じます。</li> <li>• 地域課題を聞き取る機会、または項目を作ってみてはどうか。</li> </ul> </p> <p>Q6 運営推進会議を活かした取り組みをテーマにした自由意見 →  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 予定等もあるとは思いますが、運営推進会議の出席者数が寂しく残念な気がします。</li> <li>• 地域情報や利用者様のヒヤリハット対策と盛りだくさんですが、1 つ 1 つ解決していると思います。取り組みが丁寧です。</li> <li>• 運営推進会議において、地域の特定の人物（利用者様以外）の事例検討までには至っていませんが、地域課題や詐欺等の犯罪増加、獣被害などの情報共有や注意喚起は行っていると評価しています。</li> </ul> </p>	<p>➤事業所のみで解決できない事例がある場合、運営推進会議の場にて検討をして頂く機会を設ける。</p> <p>➤事故報告の際、必要に応じて図解説明を取り入れる。</p> <p>➤運営推進会議にて地域課題が明らかになった際は、事業所として何ができるか検討し実行に移す。</p> <p>➤運営推進会議の場において地域課題を聞き取る機会を作る。</p>
---------------------------	--	--

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>Q1 事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っているか？ →はい3 いいえ わからない2 無記入1</p> <p>Q2 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画したことがあるか？ →はい2 いいえ3 わからない 無記入1</p> <p>Q3 事業所の防災訓練に参加したことがあるか？ →はい1 いいえ4 わからない 無記入1</p> <p>Q4 災害時、事業所は頼りになりそうか？ →はい2 いいえ わからない3 無記入1</p> <p>Q5 上記(Q1～Q4)に関する意見 → ・雪道は大変でしょうが、台風時や暑さからの避難など、使い勝手の良い施設ではないでしょうか。 ・年2回事業所で総合避難訓練をして頂いており、非常時の計画について対策して頂いていると思います。実際に事業所で避難訓練をする際に、地域の方も呼びし、具体的な連絡体制や役割分担についても事前に打ち合わせを行うことで、緊急時の円滑な避難支援につなげて頂ければと思います。 ・1月1回の避難訓練、半年に1回の総合避難訓練を実施しているのは、会議での報告で確認できています。事業所の防災計画は見たことない方が多数だと思いますので、運営推進会議の場で報告、または資料配布してみてもどうでしょうか。</p> <p>Q6 事業所の防災、災害対策をテーマにした自由意見 → ・事業所だけの防災訓練はされているようですが、地域を巻き込んだ訓練をしてみてもどうでしょうか。 ・安全は高齢者が自主的にできることが限られているので職員間の情報共有と優先順位の把握の確認が大事だと思います。 ・利用者以外の人々を対象にして考えるのは大変だと思いますが、サンブライトのおおらかさは非常時に強いと思います。</p>	<p>➤運営推進会議の場で防災計画の報告、資料の配布を行う。</p> <p>➤年2回の総合避難訓練を行う際は、地域の方に声をかけ、参加してもらえるように努める</p> <p>➤ケアマネジャーは事業所以外に活用できる資源をサービスに結び付ける。</p> <p>➤体調不良時や天候災害に関わる避難等、利用者様のニーズに応じて柔軟にサービス調整を行う。</p>
----------------------------	--	---

その他	<p>Q1 全体の感想など</p> <p>→ ・職員が「茂木若人の会」の一員として、茂木花火大会や、茂木地区ふれあいまつりの開催準備に参加頂いており、利用者の地域との交流を積極的に行っていると思います。また、利用者がふれあいまつりに参加されたり、近隣の小中学校へ雑巾を作成してお渡しするなど利用者との交流もコロナ感染状況を鑑みながら行って頂いていると思います。一方で、今回の自己評価に地域資源を発掘できていない、活用方法が分からないという記入があります。今後更に地域交流を活発化させる上で、地域包括支援センターをはじめ、様々な機関を含めた連携を図らせて頂ければと思いますので今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事故にあるもので未然に防ぐための対策（ヒューマンエラー）を少なくすることはとても大切だと思います。人員が限られた中で何を最優先とするのかは、とても難しい課題であると考えます。今、実施していることは better で良いのではないかと考えます。</li><li>・利用者の安全第一を優先とし、職員が利用者支援に集中できるように、外部支援（ボランティア受け入れ）や風通しを良くするための視点（保育園、小学校、中学校）との交流や、企業との連携を活用するのも良いのではないのでしょうか。</li><li>・職員の負担軽減策をすることで、離職防止に繋がれたらと考えます。</li><li>・機会があれば、職員さんに現在、福祉を学んでいる生徒に「現場の声」の講師として講話して頂く機会ですやりがいいに繋がって行けたらと考えています。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>・広い庭でお祭りができる日を楽しみにしています。無理のない範囲で1つ1つ目標を達成して行ってください。楽しみにしています。</li><li>・難題をたくさん抱えての運営は大変だと思いますが、地域高齢者のため、一生懸命取り組まれていることが伺えます。</li></ul>
-----	--



